

コロナ禍における小児の手指衛生のための手洗い指導方法の開発

荒谷 友里恵

【はじめに】 日常的な手洗いは、感染症の予防に有効であり、日本においては幼稚園や小学校等の教育機関でも指導が実施されている。しかしながら、低年齢の子どもたちに手洗いの必要性を理解させ、正しい方法でこまめに手洗いをさせることは、容易ではない。新型コロナウイルス感染症の影響を受け教育機関では教育方法の変容も求められている。人の密集を防ぐため遠隔での教育が行われ、高等教育においては、多くの授業が遠隔で実施されている。しかしながら、小児においては、遠隔での教育の事例報告は少ない。【目的】 コロナ禍における小児の手指衛生のための手洗い指導方法の開発を目的とした。【方法】 日本、カンボジア、ネパールの小児を対象とした動画による手指衛生指導の効果、小児と成人を対象とした遠隔での手指衛生指導の効果、石鹸の違い手洗い時間の違いによる手洗い効果、安価で簡単にできる手洗い後の評価方法等を ATP 拭き取り検査およびハンドペタンチェックを用いて検証した。【結果および考察】 手洗い後の RLU 値 (ATP 拭き取り検査) の大幅な減少から、動画による視覚的学習効果は年齢、地域を問わず得られることが示唆された。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、手指衛生教育は急務とされている。動画による手洗い指導は、簡単に実施でき、日本国内での指導にとどまらず、コロナ禍における小児の手洗い指導に効果的であると考え。成人において遠隔授業と対面授業後の手洗い前後の RLU 値の減少率に有意差がなかったこと、小児において集中して指導を聞くことができ、5 日間家庭で手洗いが実施できたことから遠隔による手洗い指導は年齢に関わらず対面での指導と同様の効果を得ることが示唆された。リモートでの指導は、人と直接会わなくてもでき、コロナ禍の現在、リモートでの指導は有効である。日常的な手洗いにおいては、石鹸の違いによる手洗い効果の差は少なく、手洗い時間が手洗い後の手指衛生状況に関係していることが示された。安価な石鹸を用いて手洗いは、石鹸による手洗いを身近なものにできる。石鹸を使った効果的な手洗いは、新型コロナウイルスをはじめとした感染症の予防に効果的である。片栗粉とイソジンスプレーを用いた手洗い効果の評価方法は、これまでの結果と同様の結果が得られたことから、手洗い後の評価方法として妥当であることが示唆された。新型コロナウイルス感染症が拡大する今、早急な感染予防行動の知識を普及が求められている。そのような中で、どこでも簡単にできる動画をういたリモートでの手洗い指導方法は、知識の普及と予防に効果的であると考え。【提言】 コロナ禍における小児の新たな手洗い指導方法を開発した。コロナ禍における小児の手洗い指導に動画を使用することを推奨する。コロナ禍における小児の手洗い指導にリモート指導を行うことを推奨する。海外の開発途上国での小児の手洗い指導に動画を使用することを推奨する。